

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	理念は事業所内に掲示、各自の名札にも個人理念を明記し朝礼時に唱和。理念を共有してから業務に入っている。一年を通して、理念をテーマにした研修を行い、職員全員で意識統一を図り、統一された質の高いケアが提供できるように努めている。年度の目標として、各職員が理念を元に、利用者様にとってどのようなケア者でありたいかを考え、スタッフ会議で発表し、他の職員に自分の想いや目標などを知ってもらうことで自分自身の意識の向上に役立っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の「みにケアネット」(地域の施設・医師・市が参加している認知症の理解を深める会)に Zoom で参加し、地域の中での認知症のあり方について多職種間で話し合う機会を大切にしている。ディスカッションを通す中で、各職種のエキスパートから得られる新しい知識や認知症の対応のリアルな事例をもとに話し合いを出来る場とし、参加継続している。こちら側からの意見も求められることも増え、日頃の受診などでは話すことが出来ない内容もあり、ケア者として発信できる場面も増えた。今年度初のケアマネ見学会や訪問看護導入に向けての準備等、新たな試みにも積極に取り組み、次年度に繋げる為の行動が実行できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が地域とつながりを保ちながら暮らせるように、事業所が地域の一員として日常的に交流している。 ・近所から生まれる助けあいは、その人の暮らしの継続性にも反映される。 ・地域とのつながりの一環として、新たな試みがなされている。 ・若い世代との交流機会を増やし、将来的な担い手を育てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地元の人イベントの参加ではなく、日々の生活を見たいと思っている人は多いと思う。仕事も定年になって時間に余裕のできた方々が、気軽に苑に声をかけてくれる関係性が築けたらいいのでは感じる。 		

3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>運営推進会議を外部評価に活用することとなり、市町や家族、地域の方々の協力を得て初めて実施した。会議内では、入居状況、生活の様子、インシデント報告、行事報告と、テーマを決めてのディスカッション形式での会議を行い、現場のリアルな声を届け、意見交換や交流を持つことで、質の高いケアが提供できるように努めている。新入居の方の家族・交代した旧民生委員・地域の消防団など新しいメンバーも積極的に募り声掛けを継続することで参加に結びつき、リアルな意見が飛び交う有意義な会議となっている。今後も更に地域に裾野を広げて発展させていきたい。出た意見を元に、経過を報告することで、事業所としての孤立もなくなり、充実した苑の取り組みに繋がっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で話し合い等を行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 ・運営推進会議で出された改善や試みの意見を積極的に受け入れ、実施されていることも多くある。 ・昨年に比べ評価の仕方が、会議で話し合った内容に都度記入することで、その時に感じた内容や厳しい意見・疑問も記入できてよい。各評価員による受け取り方・考え方の違いがより明確になり、多様な意見があつてこそその評価が可能になる。 ・外部評価を行うことで資質の向上に繋がるので、引き続き行ってほしい。 ・年6回の運営推進会議の中で、49項目を分けて検討し、全項目を網羅する取り組みはとても有効だと思う。 ・入居説明時に運営推進会議を活用した外部評価について、家族が周知できるように説明がほしい。 		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>市包括からのお誘いで参加した「若年性アルツハイマー型認知症を支える家族の会」で出会った家族が代表の歌声や雰囲気、職員の明るさなどを気に入っていただき、今年度見学・入居申し込みに繋がった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から市担当者と連絡を密に取り、協力関係を築いている。 ・必要な時には連絡を取り、情報・相談・助言できる協力関係が確立されている。 ・市町村関係者に対して、運営推進会議への出席を求め、情報の共有と行政機関と施設との連携強化に向けた取り組みがなされている。 		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>「身体拘束その他行動制限廃止マニュアル」を作成し、委員会を定期的かつ必要に応じて実施している。研修についても身体拘束の内容や弊害について再確認しながら、スピーチロックなどのグレーゾーンの対応についての研修を中心に行っている。日中の玄関の施錠は行わず、見守り・付き添いにて安全を確保し、拘束をしないケアに引き続き取り組んでいる。やむを得ない身体拘束の必要時にはご家族に説明・ご理解いただいた上で、身体拘束解除に向けて日々取り組んでいる。新人社員に対しても研修を行い、苑の方針を理解した上でケアにあたるように努めている。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成し、定期的な委員会・研修を開催して職員間で共通認識されている。特に、グレーゾーンの対応など細かいところにも取り組まれ、職員の入居者への接し方や態度からも、身体拘束をしないケアを理解されていると感じる。 ・長時間となるイベント参加が、強制にならないように配慮・検討されるとよい。 ・安全の確保と身体拘束は紙一重なのだと感じている。 ・身体拘束に関して、家族には十分説明はなされている。 ・やむを得ない身体拘束とはどのようなものだろうか。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>「高齢者虐待防止マニュアル」を作成。研修では、身体拘束と合わせて、日々のケアに潜む不適切なケアについて、チェックリストを活用して自己を振り返り、苑内で陥りやすい虐待に繋がる場面を把握し、虐待の危険に向き合うようにして全員で取り組んだ。心ならずも虐待とを感じる場面が見受けられた時には、職員間で注意し合い、見過ごされることのないようにしている。また、業務改善しながら、職員のストレス緩和につながる環境作りに努めている。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成し、研修や職員間で注意し合いながら振り返り共通理解できている。 ・虐待が発生する要因について、多角的な視点で振り返りや環境作りを行うことができている。 ・職員間で注意し合える関係性があることが素晴らしい。 ・日常の入居者との関係性からも相互の信頼が築かれている様子がうかがえる。 ・職員のストレス緩和のためにも、環境

							作り・マンパワー不足の改善に向けた取り組みが継続されるとよい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在、日常生活自立支援事業をご利用の方がおられる。後見制度を利用することで利用者の尊厳を確保できる支援をする。利用者様の財産、尊厳が守られる支援を継続したい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居契約書と重要事項説明書を入居時に説明と共に、利用者様、ご家族とも納得した上での契約をできるように説明する際には不透明さをなくすように心掛けている。料金改定などあれば文章作成して変更届に押印を求め、納得できないことがあれば即対応出来るように、家族が自由に記入できる「ご意見・受付書」も同封し、対応できるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見箱の設置、第三者窓口を社協にお願いしていることを契約時に説明。ご来苑時や運営推進会議への参加の際にお声掛けして意見や要望等を伺い、直接いただいたご意見は、スタッフ会議で都度取り上げて改善し、運営推進会議にてご報告している。苦情受付の書面を作成し、定期的にご家族に送付。いつでも苦情や不安事項に対して受け付けできるオープンな環境に努めている。年末の運営推進会議において、お寄せいただいた意見・苦情、アクシデント等の内容をまとめてお示しするようにしている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、要望などが言いやすい環境づくりや家族とのコミュニケーションを大切にされており、意見を吸い上げ、ケアに反映させていく仕組みが構築されている。 ・家族からの要望とその対応について、運営推進会議での発表を継続するとともに、意見を求めるとよい。 ・個人的な意見や要望を、プライバシーに配慮しながら対処されている。 ・様々な意見や要望を取り上げてオープンにし、前向きに検討されている。 ・家族からの意見の反映の受け付け方法等に関して、より分かりやすく説明してほしい。 	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の業務の中で、常勤正社員は職員の意見を吸い上げて、ケアポイントミーティングや月に1回のスタッフ会議で話し合い、改善に努めている。意見が上がれば何度でも検討して業務改善に努めている。新人もノートを作って振り返り、不安や疑問を明確化することで聞き取りやすくしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	就業時間内に業務が終わるように時間の使い方についてもスタッフ会議を利用して業務改善に努めている。職員間でコミュニケーションを深めるために大切な共有すること・声を掛け合うことを意識し、各館3人で協力している。ケア経験者は率先して新人に対しても指導を行い、信頼関係を深められるように努めている。国家資格などの資格取得にも力を入れ全面的に協力する環境も整えている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議で業務改善・職員間のコミュニケーションに努められている。 ・限られた職員で入居者への対応が忙し過ぎる。 ・ゆとりのない勤務体制の状況で、ヒヤリハットが起こらないか心配。 ・リフレッシュしながら仕事ができる環境作りに取り組んでいる。 ・職員同士、しっかりコミュニケーションが取れている印象。 ・やりがいや離職防止を含めた対策が必要かもしれない。 	

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	理念に関する目標を発表することで、個々の目標が明確になり、ケアの質や技術の向上にも役立っている。ケア雑誌「おはよう21」を活用したプチ研修を順番に全職員で実施することにより、実践に役立つ生きた研修ができており、職員のケアの技術の底上げにも役立っている。コロナ禍のため苑外研修の参加は減っているが、実践者研修や初任者研修など、自己研鑽に反映できる研修には積極的に参加している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に積極的に参加できており、ケアの質や技術を高める研修が工夫されている。 ・苑内研修において、具体的なケアの向上、実践に役立っており、優秀な人材が育っている。 ・職員が、個々のレベルを上げてほしい。 ・職員の意見の反映、就業環境の整備がほぼできているという評価に対し、職員を育てる取り組みが充分できているというのはなぜなのか。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	Zoom を利用し、「みにケアネット」の参加をし、同業者だけではなく多職種の方々との情報共有やサービス向上のための勉強会などに参加しており、研修内容は都度スタッフ会議において復命し、職員全員に周知している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様の生活歴をしっかりと理解することで本人の得意分野やできる力に目を向け、できる力を十分に発揮できるようにケアに当たっている。入居しても本人様が生活を諦めることなく、苑生活の中に「生きがい」を見つけていただけるように努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>コロナの感染対策を行いながら、行きつけの美容院(遠方も含む)や商店にも出掛けていただいている。ご家族の方と昼食をご一緒されたり、外食も相談に応じ行っていただいている。少しでも顔を見ながらお話していただき、馴染みの関係が途切れないようにしている。季節の便り(はがき、手紙)などは、書きたい方にはすぐに郵送できる支援をしている。</p> <p>・馴染みの人や場との関係継続の支援が充分行えている。</p> <p>・季節の便りを書きたい相手に書くこともでき、調理補助、買物、野菜作りなど、利用者のニーズに合わせた支援が実際に行われている。</p> <p>・家族が苑に来られたら普段の生活が見られると思う。何もしなくても、そばで見ただけで、今どのくらいできるのかが分かる。</p> <p>・苑内で一日一緒に過ごしたら、様子がわかると思う。苑に宿泊されたという話にはとても興味がある。</p>			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入居時には担当の居宅ケアマネより情報をいただくと共に、センター方式を利用してご家族にもご協力をいただき、本人様・ご家族の思いや生活歴等の把握をするように努めている。入居後には職員が、本人からの聞き取りや日々の言動や行動から思いの把握に努め、担当者が定期的にセンター方式を更新している。日々の生活の中で気付いたことや言動を、アセスメント表や個人記録に記入し、変わらぬ思い、変わりゆく思いを共有できるようにしている。意向の把握が困難な方には、表情や行動などから思いを探り、ご家族の意見も参考にしながら職員間で検討している。</p>			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>本人様の意向をお尋ねした上で、電話や手紙・面会等を利用して家族の思いを把握、受診時の主治医の意見も参考に、本人様・管理者・担当スタッフ・計画作成者を中心に、1か月に1回または必要に応じてモニタリング、カンファレンスを行い、3か月毎に介護計画を見直している。状態に変化があれば、ケアミーティングを設けて現状に即した介護計画を作成している。介護計画は、利用者様・ご家族・担当スタッフにも配布すると共に個人記録表にもセットして把握しやすいようにし、日々のケア担当者は介護計画に沿ったその日の目標を決め、実行・評価を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に即した柔軟な介護計画を作成している。 ・更なる現状に即した柔軟な介護計画と実行報告を求める。 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の意向が尊重され、介護計画が策定されている。 ・日々変化する入居者の状態に合わせて介護計画の見直しがなされ、柔軟な対応ができています。 ・本人、家族、職員が情報を共有し、同じ方向に向かっていく。 ・介護計画の目標や入居者・家族の意向にそって日々の業務が実行されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>日々の言動や状態の変化は、その日のケア担当者が個人記録表やアセスメント表に記入し、特記事項はリーダーが介護業務日誌に記入して、管理者へ報告し共有している。変化の激しい方やしっかりケアを行き届かせる必要がある場合には、別紙ケア記録に状況の詳細を記入して情報を共有、それを元にケアプランの見直しに役立っている。ケアについての変更事項はカーデックスに記入し、申し送り時に読み上げ、全員に周知できるようにしている。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の間で切れ目なく情報の引継ぎを行える仕組みが構築できている。 ・職員同士の情報共有と個別での対応ができています。 ・介護計画の目標や入居者・家族の意向に沿って、日々の業務が実行されている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>コロナが5類に移行されたとはいえ、利用者様を取り巻く環境はまだまだ厳しいものがある。認知症だから難しい、コロナだからできないではなく、「できる」支援を模索し続けている。昨年同様、受診・外出・面会・冠婚葬祭など、ご家族の状況に合わせて制限のあり方にも柔軟性を持たせ、付き添い支援やSNSの活用など、関係者・関係機関とも連携して思いの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のサービスにとらわれず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 ・入居者個々の状況・ニーズに合わせて柔軟に対応され、引越支援などの新たなサービスにも取り組まれている。 ・居室の使い方について、夫婦関係にある方に対して、書斎・寝室仕様でのニーズに対応されている。 		

				実現に努めた。更に、他市からの入居決定の利用者様の家族が遠方のため、引っ越し支援・認定所得までのアプローチなど、利用者様家族様のニーズに合わせたそれぞれの対応を試みた。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近隣の馴染みのスーパーやホームセンター・美容院・道の駅・コンサート等には継続して出向き、楽しみが持てるようにした。利用者様からのご希望で昔の顔なじみのお店にも出向いたり、金麗社の近くに住んでいたであろう高校の同級生の友人を探し歩いたり、昔の記憶を復活させる寄り添いをした。また避難訓練の際に、昨年同様、消防署のみではなく地区の消防団員の方にも毎回参加していただき、指導・助言をもらっている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の馴染みのスーパーや季節に応じた外出等が行われ、苑だよりにて生き活きと楽しんでいる様子うかがえる。 ・散歩や畑作業などの地域資源を利用しながら支援されている。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本的には、入居前からのかかりつけ医を継続され、受診時にはご家族が付き添い、当苑での生活状況を書面にて医師に伝えるようにしている。ご家族の付き添いが難しい場合は、苑スタッフにて付き添いまたは電話による受診対応を行っている。苑の協力医をかかりつけ医とされた場合は、月2回の訪問診療、歯科については必要に応じて往診していただいている。入居時には夜間や休日などの緊急時の救急受け入れ先の希望を、第1～第2希望まで伺っておき、スムーズに対応できるようにしている。受診結果は電話や面会時にご家族に伝え、職員間ではカードックス・個人記録表に記録し共有している。また、緊急入院に備え、ご家族と共に、主治医と受け入れ病院の医師との間で事前に体制を整え、スムーズな入院ができるように確立された例もある。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時には、医療機関に直前までの生活状況と認知面での特徴やその人に合った苑での対応方法等の情報提供をしている。コロナの影響で病院での面会はできなかったが、ご家族や地域連携室等から情報を聞き取り退院に備えた。入院中に認知症により身体拘束が必要となられた方については、拘束による身体能力の低下・認知症の悪化を防ぐため、早期の退院ができるように苑の協力医にも相談し、退院受け入れ体制を整えている。退院前には地域連携室と密に連絡をとり、退院カンファレンスに同席して退院後の生活が円滑にいくように情報を共有、ケアプランを立てて支援に繋がっている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時、病院との情報交換をしっかりとされ、早期の退院に繋がっている。 ・運営推進会議での発表からも、最善の努力をされていることがうかがえる。 ・家族が入院した際、状態を細かく把握されており、家族として安心できた。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている	入居時に意向確認書についてご家族に説明して重度化・終末期についての意識付けをしている。終末期を迎え	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化や終末期について、家族への事前説明・意向の確認が共有できている。

		説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	るにあたりご家族には、苑にて過去に行った支援の事例を交えて説明し、本人様の思い・ご家族の思いに沿ってできる限りの支援が行えるよう、医療機関や他施設への支援も含めて方針を決め、スタッフ間で共有しながら支援に取り組んでいる。終末期を迎えた利用者様家族に対し、主治医からの説明のお願い、急変に対する職員の対応の統一を図った。最終的には主治医も家族も駆けつける事ができ、ご家族様もご納得できるお看取りが出来たのではないかと思います。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での発表からも、施設での看取りを含めた事例等から具体的にイメージできる。 ・入居者、家族の思いに寄り添うよう、今後も継続して努めていただきたい。 ・記述だけでは施設側が何を知りたいかがわからない。蘇生措置拒否については社会通念の熟成が必要。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルの見直し、作成の実施。救命による緊急時の対応研修の実施。夜間対応、症状別対応のマニュアルを整備、全職員に配布、各事務所に掲示。スタッフ介護を活用し、職員間での共有を実施。今後は職員の練度を上げ、統一した対応ができるように研修を重ねている。急変に対する研修を行うことで対応の練習を行い、医療との連携強化に努めている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>当苑は自然災害危険地域に指定されていないため、苑待機が基本。職員の通勤経路が遮断される可能性を考え、第二・第三経路、迂回経路を各職員が書き出し、スタッフ会議でどのくらいの時間で平常業務が可能になるかの検討はすでに完了している。市町から配布される災害マップの更新やBCPの見直し・職員の変更があった場合は、速やかに非常連絡網の更新を行う等、全職員が対応できるような体制を作り、研修を重ねている。</p> <p>・苑の自助努力・共助公助を求める基本が示されている。 ・全職員が対応できるような体制を作り、研修を重ねている。 ・年2回実施される避難訓練では、職員がテキパキと動いている。地域の消防団も協力している。</p> <p>・入居時に災害マップを示し、避難計画を家族に説明しておくといよい。 ・災害が起きた時は、職員の人数も制限されているなか、家族にまで連絡に人を割くことは不可能だと思う。状況が落ち着いてからの対応になる。災害の際は地域の人々の協力を最大限活用できるように体制を強化していくことが大事。</p>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・定期的に避難訓練等も実施され、その都度会議等で検討もできている。 ・日常レベルでの各機関や地域とのコミュニケーションがしっかり取れている。 ・災害時、職員だけの対応は困難な場合があるため、地域との連携・協力依頼の実施が望まれる。 ・地域の災害マップの確認・更新ができている。</p> <p>・苑待機は良いとしても、家族に対して早い段階で伝えるツールが必要ではないか。</p>
----	------	---	---	--	---	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>声掛け一つで尊厳を傷つけてしまうため、ベテラン職員から新人職員へ、利用者様がどのようなことに対してご不安があるか、人格や個々の価値観を尊重し、敬意、特に言葉遣いには十分配慮し、不快にならないような声掛けを指導している。その方が、何を一番求めているか、「寄り添い」を職員間のモットーとして引き続き支援できるよう、まずは本人様の生活歴や大切にされている価値観の把握の共有に努め、基本ケアを徹底、声掛けを統一したケアが行えるように、スタッフ会議内でもロールプレイングを活用した研修を取り入れ、意識の共有、平均化に努めている。</p>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・入居者の生活歴や価値観等を職員間で共有し、支援されている。 ・利用者の受け取り方にも配慮した対応に努めている。</p> <p>・在宅での介護を考えると、ここまで寄り添いができないと感じる。 ・入居者の性格や病状に理解を示して、丁寧に対応されている。</p>
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>本人様のペースで生活していただけるように、ストレスになる要因を可能な限り取り除き、安心して生活していただけるように支援している。好きなこと(散歩、読書、趣味、リハビリ等)を日課として生活パターンに取り入れて寄り添いを行っている。ご家族が支援できないことでも、利用者様からの希望があれば、ご家族と相談しながらできる範囲での支援を行っている。朝が苦手な方や、夜間不安で休まれない方には、個別で寄り添いを行っている。</p>		

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	苑のアピールポイントは手作りです。利用者様の健康や好みを考え、献立を立案。苦手な主菜があれば、代替のメニューを提供し、味や調理法にも、利用者様の意見を即時に取り入れて対応している。苑で収穫した野菜や、差し入れの野菜を使い、利用者様と一緒に下ごしらえ、盛り付け、配膳、片付けまで行う支援をしている。苑内調理で、作る工程の音や匂いを感じていただき、職員も食卓を囲み、会話などでも食に対する楽しみを持っていただけるように支援している。今年、利用者家族様からいただいた柿を干し柿にする準備や、利用者様からテレビでみた献立のリクエストに応じる等、会話の中で聞ける食に対する話もしっかり受けとめて実行している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者と職員と一緒に配膳や片付けを行うことで、食事の時間が楽しみになるような工夫がされている。 ・入居者の食事のリクエストにもできる限り対応している。 ・家庭的な雰囲気づくりや利用者の嗜好に合わせた細かい配慮を行うことで、高齢者の楽しみの一つである食をより充実したものとしている。 ・苑内で栽培した野菜を利用するなど、手作りにこだわった料理を提供している。 ・利用者一人ひとりの飲み込み度合いや噛む力に合わせた食事を提供している。 ・季節の行事や誕生日など、イベントに合わせた特別メニューを提供している。 ・入居者が個々のできる力を活かして一連の作業に参加することで、食べる喜びをより深く感じる事ができている。 ・本人が食べられない食事について、食べられるもので提供されている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	栄養スクリーニングを年に2回行い、栄養状態の把握に努めている。本年度より、栄養管理委員会を立ち上げ、食事形態や内容が迅速に変更可能なように、ノートでのやり取りを通じて日々改善できている。栄養が取りにくくリスクの高い方へは、医師と協力してケアプランに取り入れ改善に努めている。利用者様一人ひとりの体調、月1回の体重測定による体重の変化を把握し、その方の状態に合わせて柔軟に対応している。夏場や夜間に限らず、脱水にならない十分な水分補給を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、個々に合わせた口腔ケア（うがいや難しい方へは、歯磨きティッシュやスポンジブラシを使用、口臭が気になる方へは、モンダミンなどを歯科医に相談の上使用）を行い、個々に合わせたブラシ選びやケアの仕方を考えて実施している。週に3回、ポリデントを実施。歯科医に口腔内の無料検診を行っていただき、口腔内の把握を行っている。口腔内の様子観察を徹底し、異常があれば歯科医に相談、連携して早めの往診で対応していただいている。「口腔ケアマネジメントに関わる計画書」を作成、歯科医、歯科衛生士の技術的助言を受けながら介助させていただいている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医とも連携しながら、適切に口腔ケアを行える環境づくりができている。 ・個々に合わせた口腔ケアをされている。 ・利用者の状態に合わせて、ブラシや洗剤などの適切な選択が行われている。 ・食後の声掛けが徹底されており、入居者自身も口腔ケアを習慣化している。 ・苑の中での支援にとどめず、認知機能が低下する前に、早い時期からの歯科治療の必要性を地域の人に伝えてもらいたい。 ・一部の入居者において、歯石の付着が見られるとの指摘があった。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンやタイミングを把握するため、排泄時間を記録し、トイレ誘導の声掛けを工夫し、拒否無トイレでの排泄が促されるよう努めている。自力で排泄が困難な時は腹圧をかけるなどの介助も行っている。また、一人ひとりに合わせてパット類を		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の排泄パターンを記録されており、自立に向けた支援が行えている。 ・苑内研修でもほぼ毎回排泄について取り上げられ、重要な問題として個々に合わせた支援がされている。

				検討、日中はリハビリパンツでトイレでの排泄を最優先にしている。日々の便秘予防として、体操、散歩を取り入れ、水分をしっかり摂取できるよう職員全体で把握し支援している。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な排泄をうながされ、本人の訴え時はすぐに対応されている。 ・徐々にできることが減っていく入居者に適切なギアチェンジも大切。 ・自宅にいた時は失禁があったが減って、常に清潔にされている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人の入浴の願望を優先させ、マンツーマンで希望のタイミングで入浴を楽しんでいただけるよう支援する。一人での入浴を希望される方については、側で見守り、声掛けして安全確認をし、リラックスしていただく。入浴拒否のある時は、時間や人を替えての声掛け等、工夫して、入浴に結びつける努力をしている。時間なども本人の希望に沿えるよう施行している。石鹸を馴染みのあるものにして対応するなど、心のリラックスを心掛けている。体調に合わせて、清拭、足浴、手浴など、時間を問わず行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調やその日の気分を確認し、日中は体操や散歩など、体を動かす支援のほか、料理や洗濯物たたみなどの生活支援を行い、安眠に繋がるように努めている。冷えが気になる方には、入床前に足浴を行っており、眠れない時には職員とお茶を飲みながら傾聴しつつ傾眠・安眠へのアプローチを行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居宅療養管理を利用し、薬の管理をしていただき、薬剤師との連携を深めている。受診後の薬変更がある時には、目的・副作用などを質問し職員と共有、把握ができるように助言をいただいている。服薬後体調変化があればすぐに医師、薬剤師に相談している。一人ひとりがどんな服薬をしているか、薬の効果等一目で分かるようファイルを作成している。サプリメントなどを服用される方については、お預かりして忘れることのないよう支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、薬剤師と連携しながら、薬の目的、副作用について、職員間で共有できており、適切な服薬が継続できている。 ・一人ひとりの服薬について、職員は理解できており、健康状態、薬の状態も専門職と共有できている。 ・薬手帳を誰が管理するかの確認が必要で、できれば自宅で管理したい。 ・新しい薬が増えたことに説明がなかった。既往症にない病気の薬なので、医療関係者として気になった。報告していただけるように希望する。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できることはできるだけご自身で、個々に合った役割を持っていただき、生活歴を重視し、得意なこと役割分担を行い、不得意なことは職員と一緒にチャレンジして、できることを増やして継続できるように支援している。行事には出演者として積極的に参加していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者自身で個々に合った役割を持ち、生活歴を重視し、得意なこと役割分担が行われている。 ・トランプ、歌、調理補助などの楽しみごとが充実しているように見受けられる。 ・季節の行事に取り組み、刺激のある時間を過ごしている。 ・介護度が高い場合でも、楽しみごとに全て参加できていることは大変だと思うがよく支援されていると思う。 		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>日常的に散歩や外出したい要望があれば一緒に、季節を感じて気分転換していただいている。地元のお店への買い物、行き付けの美容院、地域の行事にも参加できるように支援を行っている。</p> <p>家族が運営しているギャラリーや「あさがお」で出会った美祢市在住のロックバンドからの声掛けで実現した芸術村コンサートに代表出演、そのコンサートに利用者様家族様が聞きに行くなど、芸術に触れることで五感に刺激を受けて、気持ちを前向きに若返っていただく活動に尽力している。12月には県外で行われた第九コンサートに代表出演、聞きに出かけた。新しく入居された利用者様は合唱団に入られていた経緯があり、行きは下向きの姿が見られたが帰りの車中は興奮した様子で話されていた。</p>	<p>一人ひとりの希望にそえるような日常的な外出支援をしている。</p> <p>本人の希望をできるだけ把握し、一人ひとりの希望にそえるような外出支援ができています。</p> <p>コロナも5類になり、積極的に外出できるようになった。個別の取り組みや対応が行われ、感謝している。</p> <p>家族が苑に宿泊できることに興味がわいた。</p> <p>本人が外出をととても楽しみにしている。知人にリンゴ狩りに遠出したことを話すと、「とても素晴らしい、うらやましい」と言われ、嬉しく思った。</p>		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>基本的にお小遣いは事務所で預らせていただいているが、ご自分で財布を管理することを希望されている利用者様に関しては管理していただいている。財布残高も本人様と一緒に確認し、使用時はレシートをもらい、使用状況を把握している。</p>			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をし、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>年賀状や暑中見舞いで本人様のできることにチャレンジしていただき、送られたご家族も喜ばれておられる。ご家族と電話で話がしたいとの要望があればリビングでゆっくりお話しできる空間作りを行っている。親しい方々に久しぶりの便りが出せるようにご家族にもお聞きしている。</p>			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>共用の空間に常に生け花、観葉植物を絶やさないようにして、季節に応じたインテリア、季節感のある環境作りを試みている。温度、湿度、照明に気を配り、リビングに穏やかなBGM・懐かしの映像や体操動画なども流し、その時々気分転換につながるようにしている。常に皆様と日常生活から生まれる共同作業が出来やすく、笑いに満ちた空間を作るようにしている。</p>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>安全対策を講じながら、生活感、季節感を取り入れるように工夫されている。</p> <p>新規入居者もすぐに共有スペースで過ごされており、花の香り、音楽、笑い声が聞こえ、和やかな空間ができあがっている。</p> <p>明るく清潔で美しい環境が整えられている。</p> <p>共有スペースは、展示物等、季節の変化が感じられ、見ていても楽しくなる。</p>	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>担当者が中心となって、日々の会話から思いや願いの把握に努めており、食に関しても、本人様の嗜好に合ったメニューを考えている。意思表示が難しい場合でも、日々の言動を元に思いの実現に努力している。</p>			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>センター方式の記述を元に、生活歴や習慣に合ったケアに努めているが、情報量も限られ、本人様の体験談からも情報を引き出し、モニタリングに繋げている。</p>			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>日々の状況の変化に注意しながら観察し、発言を中心に記録に残し、主治医・歯科医・病院との連携を図りながら支援を行っている。</p> <p>娘様がカイロプラクティックの資格をもっておられ、入居を機に、腰痛の訴えのあるお母様に週に一回、施行を受け、昼食を一緒にするなど、母娘でゆっくりとした時間を過ごしていただいている。また、他利用者様にも定期的な施術を行っていただき、とても喜ばれている。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と家族の意向をくみ取り、それを職員間や医療機関等と共有しながら、希望の生活が送れるように配慮されている。 ・意思表示ができない入居者に対して、本人の意思を確認するには日々の細かな観察と職員間の情報共有が必要である。 ・発言だけでなく些細な様子を記録に残し、共有することが望まれる。 ・ボランティアによる入居者への手足等の施術を提案したい。 ・日常的に管理するという点では、職員に医療従事者がいるとさらに安心できる。 ・入浴の日数が限定されており、衛生面において不安がある。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりのペースを大切に、自由に生活できるよう支援しており、ご自身のやりたいことを大切に、生活に張りができるようにしている。全員で行う日課には、ほとんどの方が参加されて楽しまれている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室に馴染みのものや使い慣れたものを置いていただき、ご家族との写真を飾って思い出を大切にいただいている。面会時には写真撮影して、ご家族との写真を可能な限り更新している。書籍を中心に沢山の家具等を持参され、書斎のように利用されているケースもある。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みの物や使い慣れた物を家族にもうかがいながら自室等に持ち込むことができています。 ・入居者に配慮した柔軟な運営がなされていると思う。 ・居室の様子を見学させていただく機会があればよい。 ・コロナも落ち着き、家族や来客が徐々に訪問しやすくなっている。 ・写真が多い介護施設という印象がある。 ・個室なので馴染みのものを身近に置くことはできている。 ・大切にしているものを持ち込むことで認知症の進行を防いでいる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>敬老会に関して、美祢市町村からのお誘いで、受け入れ態勢が整っている地域で参加できた利用者様と、入居している事で断られるケースがあった方もいた。よって利用者様に満足していく対応をすることが出来なかったが、本人の希望に沿えるよう、次年度につなげていく課題である。家族が経営しているギャラリー、代表出演の県内外の舞台、買い物支援等、積極的に出向いていただいた。苑独自の歌唱教室・利用者参加型の寸劇・行事については、全利用者様が参加できており、楽しんでいただいている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者は、本人の意向や希望にそって外出をし、催事にも参加できている。 ・無理強いせず、本人の体調や希望を考慮した対応をしている。 ・敬老会の参加について、地域によって対応が異なることが会議内で取り上げられた。 ・今後も、個々のニーズに合わせた柔軟な対応と、多様な選択肢の提供を通じて、より充実した生活を送れるよう支援していく。 ・ホームページに行事の告知などをあげたら良い。その方が参加しやすくなる。 		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常できることをそれぞれ考え、個々の得意なことや役割分担しながら生活していただいている。特に料理では、共同生活の基本として、協力しながら作り上げるように努めている。生			

				活全般において、家での生活にできるだけ近づけるように工夫している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	会話や活動に積極的な方が多く、暮らしに活かしていくことは容易で、消極的な場合でも、関わりを多く持つことで傾聴しながら、日々の生活に役立てている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が持つ力の活用が充分できている。 ・入居者の表情も良く、楽しい会話が飛び交い、和やかな雰囲気を感じ取ることができる。 ・訪問した際に、明るく楽しそうな苑内の雰囲気がうかがえる。 ・周囲との会話が困難な利用者は、表情や動作から本人の力をくみとり、活かす努力がされている。 ・明るく声掛けをする等、積極的なコミュニケーションが工夫されている。 ・消極的な入居者を取りこぼすことなく関わられている。 ・入居したので制限はあるが、職員の働きで入居者のイキイキ度が得られている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「地域との交流」という記録のまとめ方を新しく設け、これまでに数件の事例はあるが、まだまだ件数も少なく十分とは言えない。地元である利用者様が、それぞれに関わりを大切にされている人や店であれば、繋がりを持続できるように支援している。また、近所の方にお花や野菜などの提供をいただいた際には、苑内でも交流していただけるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者は、自分なりに近隣や地域の人々と交流できている。 ・感染症の影響で交流は制限されているが、今後は窓口が広くなり交流が盛んになると話し合っている。 ・制限があるなかで、近隣や地域の方々との交流があるのはありがたい。 ・ボランティアや地域住民の協力により、地域交流をより充実したものにする。 ・今後も、感染症対策を講じながら、地域との連携を強化し、入居者のニーズに合わせた多様な交流プログラムを提供していくことが望まれる。 		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人様が、ご家族との関係性を作る場として、苑での生活を充実したものにし、新たな生活の場として生き甲斐を持っていただけるように、ご自身の趣味を復活させたり、これまでの習慣を日課に取り入れるなどの支援をしている。共同生活ならではの特徴を活かして、苑での生活がよりよいものになるよう、安心して暮らしていただける家となることを目指している。今年度は、看取りや新入居など多様なニーズに対応出来るか、個々のニーズに試される一年であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者は、のぞみ苑に入居することで安心感を得て、より良い日々を送れている。 ・少人数施設だからこそ、家庭的な雰囲気ができている。 ・個々のニーズに合わせた柔軟な対応と温かい雰囲気づくりを通じて、入居者の安心感と QOL 向上に貢献している。 	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や習慣を日課に取り入れるなど、安心して生活できるように工夫されている。 ・入居者がすぐに打ち解けられるような環境づくりができている。 ・入居者とのコミュニケーションがしっかりできている施設という印象がある。 ・沢山の屋内外での活動を計画実践し、苑だよりで知らせていただけるのはありがたい。 ・充実した生活ができる所だと思っている。日常の会話の中から不安なく暮らせるように工夫されている。理想のグループホームだと思う。 ・総合的にとても満足のいくケアを受けている印象がある。